

ビッグスワンオータムフェスタ2019 自衛隊をPR



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、11月4日（月・祝）新潟市中央区のデンカビッグスワンスタジアムで開催された「オータムフェスタ2019」に参加し、陸上自衛隊第30普通科連隊及び航空自衛隊新潟救難隊とともに広報活動を実施しました。これは、J2サッカーチームのアルビレックス新潟の本拠地であるビッグスワンスタジアムを活用し、スタジアムに親しんでもらうことを目的としたイベントで、親子連れなど約3500名が会場を訪れました。

新潟地本は、メイン会場入口エリアの「はたらく車大集合コーナー」に陸上自衛隊第30普通科連隊による軽装甲機動車、高機動車及び指揮通信車の車両展示をしたほか、新潟県内で発生した山形県沖地震や台風19号等での災害派遣活動を紹介するパネル展示、広報DVDの上映及び制服試着コーナーを行い、自衛隊への親近感の醸成及び理解の促進を図りました。



なかでも、制服試着コーナーでは、親子連れの来場者に「隊員さん達と一緒に写真が撮りたいです」と頼まれ自衛隊車両をバックに、多くの隊員と楽しく記念撮影する姿も見られ、育てる広報にも大きな効果を得ました。



また、航空自衛隊新潟救難隊も参加、救難装具等の展示やフライトシミュレーターコーナーを設置し、多くの人たちが行列を作り、体験した学生からは「パイロットへの興味がさらに増しました」などといった声も聞かれるなど、当日は訪れた来場者に航空自衛隊も大きくアピールすることができました。



新潟地本は、広報活動を通じて市民と積極的に触れ合い、幅広い世代に自衛隊をPRし、未来の自衛官発掘に繋げていきます。